

令和7年度学校評価アンケートの分析と課題 一覧

令和7年度学校評価会議(自己評価)

分 掌	分析《目標(=あるべき姿)と現状とのギャップ等》	課題《ギャップを埋めるために必要なこと》と対策《具体的な施策》
総務	<p>「PTA・同窓会との連携」に関する保護者への質問が連携を問うような質問になっていないため、回答が低くなるのは当然である。</p> <p>「施設・設備」に関する項目でも、生徒は他校の様子を知らないため、仁賀保高校では、施設設備が整っているとは思えないのだと思う。</p> <p>「防災」に関する項目でも、4月に管理職から防災に関する資料が配付され、各家でも防災対策をお願いすることを送った。それでも、保護者が仁賀保高校の防災計画や防災対策が理解されていないというのは非常に悲しくなる結果である。</p>	<p>《課題》</p> <p>生徒が自分たちの通っている仁賀保高校という環境が、他校と比べてかなり恵まれた環境にいるということを理解していない。</p> <p>保護者には、PTAの行事に限らず、学校行事や部活動の大会等の見学には来たりしていることから、保護者と学校の連携の在り方を考える。</p> <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が使用していない、生徒手帳は廃止する。 ・PTAでの紙面会議の結果から、PTA総会を行わず、紙面会議のみに移行して行くことも考える。 ・保護者は、ホームページで毎月の行事を確認していることから、様々な情報を得られるように工夫する。
教務	<p>生徒一人一人が学ぶ意欲を持ち、学習に向かう姿勢の確立が図られていれば良いのだが、アンケートによると、全校の4割以上の生徒が、授業に意欲を持って取り組むことができておらず、また家庭学習の時間も確保できていない現状である。</p>	<p>《課題》 学ぶ意欲を喚起するため、学習環境の質的向上を図る。</p> <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を効果的に活用する。 ・授業のユニバーサルデザイン化を促進し、授業改善を行う。
生徒指導	<p>本校の校則やルールが生徒や保護者に伝わっていないと感じている生徒や保護者、教職員が少なからずいるようである。そのためかルールやマナー、他者を尊重する意識を育む等の指導が不足しているという思いを抱かれているようである。機会あるごとに人としてどう振る舞うべきかの指導をしているつもりであっただけに残念である。</p>	<p>《課題》</p> <p>学校のルールがどのようなものであるか、それをどのように指導して実践しているかについての周知徹底がなされていない。</p> <p>《対策》</p> <p>生徒指導便り等の外部への発信の内容をさらに充実させるとともに、適切な時期に各クラスや学年等に協力を仰いで指導の周知徹底を図る。</p>
進路指導	<p>進路指導・支援に関する生徒への質問 23「先生方からの個別指導等」に関する項目の否定的な意見10%は1,2年生からのものである。3年生は0%なので、2年次後半の模擬進路活動以降、個別の指導について理解・評価されていると分析する。</p> <p>進路体験学習については、各学年から1,2人の否定的意見があるだけなので、概ね効果的であると思うが、更にその意義などを説明して、納得を得て向かわせたい。デジタルアカデミックインターンシップに拘り過ぎると、生徒自身の希望とかけ離れることがあるので、生徒によく説明することが必要である。そのため、生徒の希望職種を体験させるために、インターンシップを2回行うことも勧めている</p>	<p>《課題》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①進学だけでなく、就職の方が特に基礎学力の定着が必要であることを早い段階から理解させたい。 ②四大・医療看護系進学希望者には、進学に向けての学習の仕方や探究のテーマ設定など、総合型選抜を意識した指導が必要である。また同時に、共通テスト対策も意識して科目選択をさせるべきである。(普通科の英語は2年生から英コミⅡ4単位と論理表現Ⅰの選択をしないと進学に対応した学力定着は厳しい) <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生のうちからの進路に対する意識づけが必要である。具体的には、 <ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や家庭学習の意義を理解させ、取り組ませる。上位を伸ばす工夫が必要。 ・職場見学等で見るべきポイント等の事前学習が大事。就職支援員の活用を。 ・志望進路について調べさせる。OCや職場見学にどんどん参加させ、意識づけをする。 ・2年生のインターンシップは1回だけでなく、地元企業は随時受入OKのところもあるので、興味のある業種・職種は問い合わせをしてどんどん参加させたい。 ・3年生は、本当に自分のやりたい職種を早めに絞り込んで、複数見学するなどしてマッチングさせたい。
特別活動	<p>今年度は、部活動の入部人数が増えるように「兼部」や「臨時」の制度の時期をずらして実施した。教師用アンケートにおいて、「部活動が活性化されるように工夫されている」の項目がAとBを含めて昨年よりも肯定的な割合が10%も増えてきた。しかし、生徒用アンケートでは、部活動の充実度が昨年度よりAとBが20%も下がっており、相変わらず部活動の少人数化が多く、厳しい運営状況になっている。そこで更なる制度の見直しや部活動の精選などの工夫が必要であると考えた。</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数でも活性化するための部活動の精選などの環境整備とバランスのよい運営方法の確立をする。 <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が部活動に入り、意欲的に活動できるような部活動の精選などの環境を整える。 ・職員の配置や部活動の運営について意欲的に向かわせる状況を組織的に行う。
健康教育	<ol style="list-style-type: none"> ①「ほけんだより」が保護者の手に届いていないようだ。また、教育相談たよりの発行が滞り、SC来校の周知ができていなかった。 ②校舎の清掃が行き届いていないと思っている生徒が多かった。 	<p>《課題》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者への情報提供の徹底。 ②校舎清掃の見直し。 <p>《対策》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学校HPにて、たより発行を知らせる。通知表と一緒に(縮小版でも)郵送する。 ②「清掃の日」などの清掃が確実に実施できるよう、確認体制をつくる。 <p>周年行事にあわせた業者清掃・リフォームなどができないか検討してもらう。</p>

教育情報	<p>図書室の環境は整備されているが、生徒の利用は低迷しており、ハード面の充実が主体的な学習や読書習慣の定着に結びついていない。</p> <p>学校での情報モラル指導は徹底されている一方、家庭への波及には課題が残り、学びが家庭内のルール作りや実践に直結していない。</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none">・図書室の有効活用・情報モラルの定着と家庭連携 <p>《対策》</p> <ul style="list-style-type: none">・探究活動や教科指導との連携を強化し、授業内での図書室活用機会を広げる。・図書室の機能を学習コモンズへ転換し、生徒の居場所としての価値を高める。・LHRや授業等の枠組みを利用して事例検討を行い、モラルの定着を図る。・ICTオリエンテーションや生徒指導だより等を活用し、家庭でのルール作りを促す。
------	--	---